

教員個人調書（様式 1 - 1）の記入要領

< 全 般 的 事 項 >

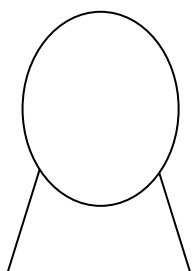
- ・ ワープロ等による印字が望ましいです。手書きによる場合は楷書で丁寧に記入してください。また、外国語は必ず活字体で記入してください。
- ・ 外国人の場合は母国語で記入して差し支えありませんが、その場合は訳文を添付してください。
- ・ 各項目の記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を追加（挿入）してください。

1 「履歴書」欄について

- (1) 「氏名」は、本名を記入してください。
(旧姓等の通称を使用する場合は、通称を () で記入してください。)
- (2) 「生年月日(年齢)」は、和暦で記入してください。満年齢は記入日現在における満年齢を記入してください。
- (3) 「申請職名」は、公募の職名を記入してください。
- (4) 「現住所」は、上段に郵便番号を記入してください。
下段に現住所を正式な住居表示等に従って都道府県名から記入してください。
- (5) 「TEL」「携帯番号」「メールアドレス」は必ず記入してください。
- (6) 「顔写真(縦 4cm×横 3cm)」の裏面に氏名を記入のうえ貼付してください。

< 記入例 >

(※記入日→)令和〇〇年〇月〇日現在

履 歴 書				
フリガナ 氏 名	シコク (ダイガク) 四 国 (大 学)	タロウ 太 郎	性別 男	
生年月日 (年齢)	昭和48年5月25日生 (満40歳)			
申請職名	講師			
現住所	〒771-1192 徳島県徳島市応神町古川字戎子野123番地1 (TEL: 088-665-9900) (携帯番号: 090-1234-5678) (メールアドレス: 〇〇〇〇@shikoku-u.ac.jp)			
現住所以外の連絡先	(TEL:)			

2 「学歴」欄について

- (1) 高等学校またはこれと同等以上と認められる学校卒業の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入してください。
なお、記入にあたっては、卒業証書、修了証書等を確認し、大学の学部、学科、課程、専攻、コース並びに大学院の研究科、課程、専攻、コース及び学位の種類について、学位記等に準じて正確に記入してください。
- (2) 中途退学であっても省略せず記入してください。
- (3) 博士課程を出た時点で博士号を取得していない者の学歴は、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。
- (4) 学位、称号の他、教員、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、管理栄養士等の資格についても、学歴欄に記入してください。なお、記入にあたっては、上記(1)と同様免許状等を確認の上、登録番号等も付記してください。

- (5) 外国の大学を卒業している場合は、卒業証書のコピーを添付してください。
- (6) 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記入してください。職歴についても同様に扱ってください。
- (7) 学生としての外国留学については、学歴欄に記入してください。
- (8) 大学の別科、専攻科については、学歴欄に記入してください。

<記入例>

学 歴	
年号年 月 日	事 項
平成 11 年 3 月 1 日	〇〇県立〇〇高等学校卒業
平成 11 年 4 月 3 日	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
平成 15 年 3 月 16 日	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業 (〇〇学士)
平成 15 年 4 月 3 日	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (修士課程) 入学
平成 17 年 3 月 16 日	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (修士課程) 修了 (〇〇修士 第〇〇号) 修士論文題名「△△△△△△△△△△△△△△△△」
平成 17 年 4 月 3 日	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (博士課程) 入学
平成 20 年 3 月 16 日	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (博士課程) 修了 (博士 (〇〇) 第〇〇号) 博士論文題名「△△△△△△△△△△△△△△△△△△」 (資格)
平成 15 年 3 月 31 日	中学校教諭 1 級普通免許状 (数学) 平 15 中 1 普第 138 号

3 「職歴」欄について

- (1) 職歴のすべて (自営業、主婦、無職等を含む。) について記入し、職名、地位等についても明記してください。なお、各職歴については、始期及び終期が明確になるよう記入し、現職については、必ず「現在に至る」と明記してください。
- (2) 専門分野に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入してください。
- (3) 上記(1)、(2)のほか過去に大学設置審議会の教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、その審査に係る審査年月、大学名 (学部又は研究科名を含む。)、職名、担当授業科目名及びその判定の結果を記入してください。
- (4) 大学等の教員の職歴については、主な担当科目名を () で付記してください。
- (5) 研究者としての外国留学については、職歴欄に記入してください。
- (6) 研究生・助手・聴講生等は、職歴欄に記入してください。

<記入例>

職 歴	
元号年 月 日	事 項
昭和 45 年 4 月 1 日	〇〇大学理学部数学科研究生
昭和 46 年 4 月 1 日	△△大学教育学部講師 (代数学、幾何学)
昭和 49 年 4 月 1 日	△△大学教育学部助教授 (代数学、応用数学)
昭和 49 年 4 月 1 日	□□大学教育学部非常勤講師 (応用数学) 「昭 50.3.31 まで」
昭和 50 年 7 月 1 日	文部省内地研究員として〇〇大学理学部へ出張「昭 51.1.31 まで」
昭和 51 年 10 月 1 日	文部省長期在外研究員としてアメリカ合衆国 (〇〇〇大学及び〇〇大学) へ出張 「昭 52.9.30 まで」
昭和 53 年 10 月 1 日	大学設置審議会の教員組織審査において◇◇大学大学院教育学研究科 (修士課程) 教授 (代数学特講、応用数学特講) M 合と判定
昭和 55 年 4 月 1 日	◇◇大学教育学部教授 (代数学、応用数学) 「現在に至る」 ◇◇大学大学院教育学研究科 (修士課程) 授業担当 (代数学特講、応用数学特講)

昭和 58 年 4 月 1 日	「現在に至る」 ◇◇大学教育学部附属小学校長併任「昭 61.3.31 まで」
-----------------	---

4 「学会及び社会における活動等」欄について

- (1) 本人の専攻・研究分野等に関連した事項についてのみ記入してください。
- (2) 所属学会名は、正確に記入してください。
- (3) 大学の教員の場合、所属する大学の委員を除き、審議会等の主たる委員会の委員について記入してください。

<記入例>

学会及び社会における活動等	
元号年 月 日	事 項
	(所属学会等)
昭和 50 年 7 月 1 日	〇〇学会会員「昭54.3.31まで」
昭和 55 年 4 月 1 日	日本〇〇学会会員「現在に至る」
昭和 60 年 7 月 1 日	中国四国〇〇学会会員「現在に至る」
	(委員の委嘱又は社会における活動等)
昭和 54 年 6 月 1 日	〇〇県〇〇審議会委員「昭57.3.31まで」
昭和 58 年 5 月 1 日	〇〇市〇〇運営委員会委員「昭59.3.31まで」
平成 4 年 4 月 1 日	教科用図書検定調査審議会調査員「現在に至る」

5 「賞罰」欄について

- (1) 学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係わる処分等を記入してください。
- (2) 記入事項がない場合は、「なし」と記入してください。

6 「氏名欄」の欄について

- (1) 本名を記入してください。(旧姓等の通称は記入しないでください。)

<記入例>

上記のとおり相違ありません。
令和〇〇年〇月〇日
氏名 四国 太郎 (押印不要)